

子ども特派員 わが街に行く!

この紙面は、自分の住んでいる街や校内活動を、自分たちで取材・編集する「子ども特派員」とともに編集しています。

今回の「子ども特派員」は、小絹小学校5年生の川上さくらさん(左)、飯島花音さん(中央)、中村美咲さん(右)が、小絹コミュニティセンターで開催された「コミセンまつり」取材しました。

すてきなメロディ〜♪ すてきな笑顔

私たち3人は7月7日、小絹コミュニティセンターで開催された「コミセンまつり」取材してきました。このコミセンまつりは今年で6回目ですが、平成19年に小絹コミュニティセンターに図書館分館がオープンするときに、オープニングセレモニーを行ったそうなので、本当は7回目だそうです。実行委員長の高橋さんは「コミュニティセンターなどで



活動する人たちの発表をする場、交流をする場がなかったので、コミセンまつりを始めようと思った」と話してくれました。

私たちは、コミセンまつりに参加した「ひまわりコース」の方々にインタビューをしました。ひまわりコースの方は、19年間練習をしてきて、今回初めて参加し、メンバーで一番の最高齢は86歳の方だそうです。皆さん「楽しく歌うのが一番」、本番直前の気持ちは「わくわく、ドキドキ」と話してくれました。

私たち小絹小学校の友達もコミセンまつりに参加しました。歌うのが好きな人たちが昼休みなどに一生けん命練習



し、本番では、練習の成果をはっきりしました。お客さんたちは、歌にあわせ手ぶようしもしてくれました。見ていた人からは「一生けん命歌って、一生けん命合そうしていて感動した」と話してくれました。

コミセンまつりでは、出えんされていた方もそうですが、見ている人からも笑顔が会場にあふれていました。誰かが一生けん命歌っていると笑顔がこぼれて「すてきだな」「かっこいいな」と思いました。これからもみんなの笑顔があふれる「コミセンまつり」を続けてほしいです。

